

ドラマ、スポーツ、それともニュース？ 日本のテレビを海外で。

日本を離れて海外ロングステイ。しばらくすると英語や現地語に耳も慣れ、異文化体験もすこし板についてくる。その一方で、日本語を聞いたり話したりできないことから、ストレスに見舞われたり、ホームシックにかかる人もいます。そんなストレス解消に役立つのが、意外にも日本のテレビ。もちろん、NHKや民放のごく限られた番組は視聴できるが、日本にいる時のように、好きな番組を好きなだけというわけにはいかない。

日本にいるのと同じように日本のテレビを観たい。そんな問い合わせが現地ロングステイサロンにも寄せられるという。海外で日本のテレビを観る方法はいくつかあるが、いまホットな話題になっているのはSlingbox(スリングボックス)。インターネットを通じて、日本のテレビ番組をパソコン、タブレット、スマホなどにリアルタイムで転送するシステムである。

マレーシアでロングステイヤーのお世話をしているJMマイセカンドホーム・コンサルタンシーのAさんは、さっそく現地でSlingboxを体験。その感想を次のように語ってくれた。

「画像は思いのほかきれいで、映像が乱れたり、途中で止まったりすることはありませんでした」。「一度設置すれば、月々の支払いは一切なしというのもいいですね。これがあれば、日本との距離がグッと縮まるように思います」と付け加えた。

海外で人気のあるのは、ドラマや映画、スポーツ番組。なかでも、オリンピックやワールドカップなどの国民的行事や、テニス、野球、サッカーなど日本人の活躍が目立つスポーツ番組の中継は見逃せない。Slingboxを利用すれば、うれしいことに日本で契約しているBS、CSなどの有料放送を海外でもそのま

ま観られる。

もう一つ忘れてはならないのが、日本語による確実な情報の把握。東日本大震災の折、日本に住んでいる外国人の多くは、メディアから流される日本語による情報に不安を感じたとされている。

フィリピン・マニラで日本人向けのビザ取得サポートや不動産の斡旋を行うTESZARA(テザラ)のBさんは、「社会的に大きな事件や災害に関するニュースは日本のテレビを観るのが一番です」と語る。事件の背景などをしっかり解説してくれるテレビは重宝とのこと。

では、どのようにすれば夢のテレビ環境が実現するのか説明したい。日本の自宅で使っているレコーダーとインターネットにSlingboxを接続。次にパソコンでSlingbox公式サイト(www.slingbox.jp)にアクセスして、無料の専用アプリをダウンロード。あとは起動したアプリの画面に従って本体を設定するだけ。すると、パソコン画面に同じレコーダーのリモコンが表示され、チャンネル変更や録画再生、録画予約などが簡単にできる。設定や視聴は、スマホでも可能(要専用アプリ)。機器の接続・設定が面倒という方には、同公式サイトからの申し込みで、訪問による設置サービスを日本全国で実施している(一律15,000円*)。

多くのSlingbox利用者が口をそろえて称賛するのが画質の良さ。パソコンではフルHDに対応しており、臨場感のある映像を高画質で楽しめる。パソコンを現地のテレビに接続すれば、大画面での視聴も可能である。月々の使用料は無料。iPadなどタブレットやスマホで視聴したい場合は、専用アプリ(それぞれ1,500円*)が用意されている。(※2015年3月1日現在)



ご自宅のテレビ環境を、海外のロングステイ先へ。

Slingbox M1 HDMI SET

設置時の自宅インターネットとの無線接続と、お手軽スマホ設定に対応した最新モデル。HDMIコンバーター同梱版。ご自宅のレコーダーがHDMI端子のみ搭載の場合はこちら。

Slingbox M1

ご自宅のレコーダーがD端子を搭載している場合はこちら。

価格：いずれもオープン

新発売



※安心の30日間返金保証

※日本全国へ訪問設置サービス(全国一律15,000円)

Slingboxは、日本公式ストア(フロンティアファクトリーストア)のほか、Amazon・楽天などの大手ECサイト、ヨドバシカメラなどの有名家電量販店、JAL・ANAのショッピングサイトでもお買い求めいただけます。

商品の詳細・お問い合わせ：Slingbox公式サイト <http://www.slingbox.jp/LS>

Slingbox日本総代理店・販売元：フロンティアファクトリー株式会社

※Slingboxは、ロングステイ財団法人賛助会員です。

